



春日部市議会議員
くりばら信司後援会だより

Kuri's Voice

<http://s-kuribara.com/>

発行責任者
栗原信司
春日部市中央2-25-30
TEL/FAX 752-2384
www@s-kuribara.com

9 月度定例議会 一般質問より

1. ボランティア貯金制度の導入について

仮称・ボランティア貯金制度の導入について質問しました。社協等で実施している高齢者宅の家事援助サービスをボランティアとして行った場合、将来、自身が家事サービスなどの援助を必要とするときにその時間分だけを家事援助サービスとして受けることが出来るような制度についてであります。

既に実施している自治体ではボランティア利用券、ボランティア振興券を発行するなど、形態としては自治体で知恵を巡らしているようですが、いずれにしても介護保険制度の狭間に泣く人の救済措置として、そ

して、ボランティア活動を行う方々にとっては側面支援策として導入する機会が多いようです。

ご当地春日部においては社会福祉協議会の事業の一環として同様の事業を行っておりますが、このシステムを用いることを含めて行政主導として実施、活用できないものかお尋ねをしました。

担当部長の答弁としては導入はほぼ不可能に近いようです。

2. 緑化運動の推進について

緑化運動について質問しました。温暖化防止対策の為ですが、身近なところでは高齢化社会を迎える対策として、又、散歩のしやすい街作りの為と言う観点から緑化対策、いわゆるケヤキなどの広葉樹とか高木の植林運動をもっと強力に推進すべきではないかと提案させて頂きながら、春日部市の今後の取り組みについてお伺いしました。

関連して、かねて提案しておりますポケットパークの整備拡充問題と合わせてポケットパークへの植樹運動や緑道整備についても同様の趣旨から質問をしました。



ちょっと小耳に情報！



10月から市のHPが更新し、携帯電話から市の情報が見られるようになりました。ご活用下さい。休日の当番医などの情報が見ることが出来ます。

<http://www.city.kasukabe.saitama.jp/i/>

3. 動物愛護について

動物の愛護及び管理に関しては市民の間に共有の思いが形になるまで、取り上げなければいけない重要な問題の1つと認識して4点に絞りお伺いいたしました。

1つには貯水池・遊水池の活用も含めて、ドッグランとしての解放について。

2つには市のHPの中に捨て猫捨て犬等を含むペット達の里親探しのコーナーを設置すべきではないか。



3つには、動物愛護条例の制定について。4つには、災害時における動物たちの対策についてはどうなっているのでしょうか。

答弁としては他市を検討しながらさらなる研究を続けていくと言うことでした。

4. 電子自治体に対する取り組みについて

1つはデジタルデバインド対策として市役所や公民館など公共施設にネットに接続できる端末機を設置して欲しいとの市民要望に対するその後の取り組みについて。

2つには無線LANの導入について。

3つには市民文化会館やウィングハットなどの公共施設の利用料金をコンビニで支払いが出来るようにはならないか。

4つめには防災情報を携帯電話で発信、受

信できないものかと提案がその後の進捗について。

5つには聴覚障害の方の救急対策、防災時の対策として、携帯やパソコンからメールによる119番通報システムを導入すべきではということについて。

以上質問しましたが、予算の都合もあり、順次取り組みたいという答弁でした。

5. ブックスタートの導入について

ブックスタート事業について、ご賛同を頂いた5628名の署名と共に市民の声を代弁させて頂き、質問しました。

この事業は読み聞かせ効果と共に、親子が肌をあわせることによって、母親や父親の体温のぬくもりを感じながら良書に親しみを覚えさせるという、育児に悩む親にとっても大変重要な意義をもっています。

まさに、混沌とした社会に大いなる光明を灯す一大事業と言えます。将来の世界を担う子ども達の健全育成に関して最大の責任を担う教育長に早期導入について市の見解を伺いました。

しかし、執行部には未だ十分な理解が得られませんでした。